



秋吉台と秋芳洞のリピーターポテンシャル調査

山口大学大学院創成科学研究科（理学）教授 坂口 有人

目的と手法：

観光客数を高いレベルで維持するにはリピーターの増加が望ましい。秋吉台と秋芳洞が、どれくらいリピートしたくなる魅力があるのか、また、どうすれば繰り返し訪れたいくなるのかを調べた。

旅費や時間の制約を取り除くために、秋吉台と秋芳洞の両方を知っており、距離的な制約が少ない人たちとして、山口市、防府市、美祢市を対象とした。アンケート用紙を750枚配布し、248名から回答を得た。

結果と議論：

来年度どれだけ行きたいのかを点数化してリピート魅力点を評価したところ、秋吉台が35点、秋芳洞が8点となった（図1）。これを、この1年以内に秋吉台に行った人に限ると、秋吉台のリピーター魅力点は70点になった。秋吉台はリピート魅力が高い。

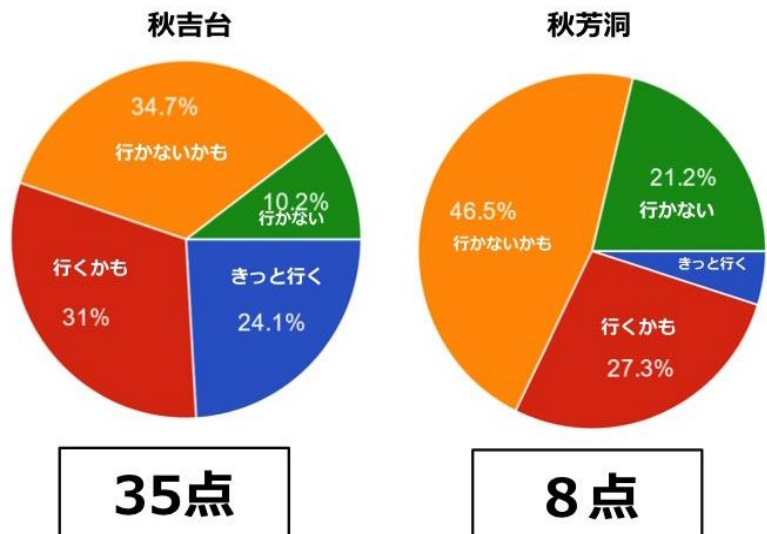


図1. リピーター魅力点。配点は「きっと行く：1点」「行くかも0.5点」「行かないかも：0点」「行かない：-0.5点」とした。

またMine秋吉台ジオパークの知名度は美祢市内では9割であるが、山口市で約5割を下回り、防府市では4割以下である。

どうすればリピーターになるのか、という問いに対して、新しい施設、定期的イベント、宣伝強化を求める意見が多かった。

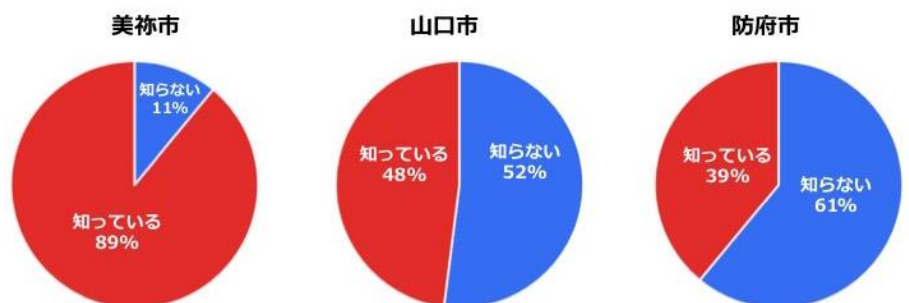


図2. Mine秋吉台ジオパークの知名度

報告会では黒谷口かエレベータ口に秋芳洞と一体化した自然博物館を建てて、鍾乳洞を含めて日本最大の博物館とする案が議論された。